

平成28年度事業報告

(第33年度)

平成28年4月1日から
平成29年3月31日まで

I 公一1 森林、林業の啓発と緑化事業

森林やみどりは、地球温暖化の防止、局地的豪雨の頻発等に対応した山地災害の防止、生物多様性や景観の保全、環境教育や森林セラピー等による健康づくりの場としての利用、緑豊かで潤いのある日常生活環境の確保など多様な機能を持っており、国民が安全で安心して暮らすことのできるようそれら機能を十分に発揮し得る森林・みどりづくりが求められています。

健全な森林づくり、森林・林業の再生、緑豊かな生活環境づくり等について、県民に正しく理解してもらい、参加を促すための様々な取り組みが必要です。

「長野県ふるさとの森林づくり条例」の規定により長野県が定めた「長野県森林づくり指針」に沿って、行政、NPO、地域住民との様々な形での協働を通じて多くの県民の参加を得ながら、地域の実情やニーズにあった森林の整備や身近な生活環境の緑化等に関する実践的活動に重点をおいて事業の推進に努めました。

第67回全国植樹祭は県内外から約5700人の参加者を得て開催されました。

1 情報誌等による広報、普及宣伝

森林・林業及び環境緑化に対する県民の更なる理解を深めるため、次の事業を実施した。

(1) 情報誌の発行等

ア 情報誌の発行等

基金業務、森林・林業及び環境緑化等について、県民の理解を深めるため、4月の緑化シーズンに併せてグリーンキャンペーンを行うほか、新聞広告、機関誌の発行、その他参考資料の配布を行う。また、企業のショーウィンドウを借用して、PRポスターなどを掲示した。

イ 緑の情報サービスの推進（ホームページによる情報発信）

当基金が関わる各種行事、巨樹・古木や森と水の絵本のPR、緑の募金の使途報告など、ホームページを用いて情報を発信し、広く県民の森林づくりや環境緑化への実践参加を促進した。

ウ 森と水をテーマにした絵本づくり

子どもたちがふるさとの森林と川と人との関わりについて、思いを深めることができるように、木曽川上流を対象に調査し、絵本仮称「森のくまさん2」の原案の作成を進めた。

エ その他

- ・ 8県（新潟、富山、石川、福井、静岡、愛知、山梨、岐阜）からなる中部地区緑化推進協議会の第50回会議を10月27日木曜日～28日金曜日、長野市のホテル犀北館を会場に当番県として当基金が開催しました。
- ・ 木曾地域の緑化活動を支援している映画「うみやまあひだ」の上映を地区緑化推進団体とともに10月15日土曜日上田市の上田映劇にて開催しました。当日は上原貴夫理事にトークショーを行っていただき、上映後には宇都宮理事長からもご挨拶いただきました。

2 県民の集い等の開催

(1) 第67回全国植樹祭の開催（第67回長野県植樹祭）

6月5日（日）、長野市オリンピック記念アリーナエムウェーブにおいて、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、約5700人の参加者を得て、第67回全国植樹祭が開催された。

(2) 全国植樹祭に併せた県民植樹行事の開催

県下10地域で県民植樹会場が設置され、9600人程が参加し、約11ヘクタール、27,000本程の苗木が植栽された。

(3) 地区緑化推進団体による森林の感謝祭などの開催

緑と水の森林ファンド事業（（公社）国土緑化推進機構）の助成を受け、地区緑化推進団体の実情に即し、森林の感謝祭、植・育樹など体験型の行事等を実施した。

3 講演会の開催等

(1) 緑に親しむ集い

樹木観察や木の実を使った工作など様々なふれあい体験を通じ、県民が森林や森林の恵みに親しむとともに関心を深めることができるよう、県林業総合センターの体験学習施設を利用して、定期的に、森林整備作業、自然観察などを取り入れた様々な体験型の集いを開催した。

(2) 森林フォーラム

持続可能な林業経営を行っている先進事例等の取組みを知るため、「これからの森林経営を考える～持続可能な森林経営を目差して～」を開催テーマに掲げて森林フォーラムを長野県、林業関係団体等と共催して実施した。

(3) 野鳥愛護思想の啓発

小・中学校を対象に、児童・生徒の野鳥を愛し緑を育む心を養うため、野鳥観察、巣箱製作・架設など、野鳥愛護の実践活動を行う小中学校4校に対して信州の緑と野鳥を守る会を通じて助成した。

4 森林づくり等実践参加の促進

(1) 林業関係等コンクールの開催

林業関係等コンクールを長野県、林業関係団体等と共催で実施し、健全な森林づくりや環境緑化等に係る様々な活動や成果を顕彰し、県民の実践参加を促進した。

ア ふるさとの森林づくり賞及び林業関係ポスター等コンクールの開催

森林づくり、森林環境教育などに優れた功績があった方の顕彰や小・中学校、高等学校の児童・生徒への環境緑化思想及び野生鳥類の保護の高揚を図るためのコンクールを長野県、林業関係団体と共催で実施した。(表彰式 1月17日)

- ・ふるさとの森林づくり賞 長野県緑の基金理事長賞 1団体
- ・林業関係ポスター等コンクール 長野県緑の基金理事長賞 19名

イ 木工工作コンクールの開催

小・中・特別支援学校の児童・生徒が木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら、森林の大切さや役割を学び木の文化を大切にする心を育てるため、身近な木材を活かして自由な発想で創作した木工工作作品のコンクールを長野県木材青壮年団体連合会と共催で実施した。(表彰式 11月5日)

- ・木工工作コンクール 長野県緑の基金理事長賞 1名

(2) 森林環境教育指導者研修会の開催

子どもたちが自然に親しみつつ森林の役割や森林づくりの重要性などについて体験的に学習できるよう、長野県の森林の現状をはじめ、森林環境教育に関する知識や森林に親しみながら理解する手法等の研修会を教育指導者である教職員を対象に10月4日上田市民の森公園「わしば山荘」で開催し、それらの習得を支援した。

(3) 学校林の整備・活用

ア みどりの少年団等森林活動支援事業

児童・生徒が行う森林活動を普及推進するため、林業普及指導員がコーディネーターとなり、みどりの少年団等がNPOや地域の指導者等と連携して学校林整備等を行う団体に助成した。

- ・茅野市北部中学校他13校

イ 学校林等の整備

学校林活動の普及促進と森林環境教育の充実が図られるよう、国土緑化推進機構の助成を受け、学校林等の整備を行い青少年の森林体験活動の場と機会を確保した。

事業名 学校林を活用した森林環境教育促進事業
坂城小学校学有林運営委員会

事業名 みどりの少年団活動促進事業(戸隠中学校学校林)
戸隠中学校みどりの少年団

5 都市緑化等の環境整備

(1) 公園等公共施設の緑化

ゴルフ場の協力を得た（公社）ゴルフ緑化促進会の緑化協力金を受けて、公共施設の緑化を実施した。

区 分	地 区	事業主体	実施場所・樹種
第77・78回	佐 久	御代田町	豊昇ふるさと公園 ヒメシヤラ 8本

(2) 小中学校敷地内の緑化

国土緑化推進機構の助成を受け、学校環境の緑化を通じて、青少年への森林環境教育を推進することを目的に、小・中学校敷地内及び周辺的环境緑化、環境教育のフィールドの整備（樹木の植栽・芝生化、樹木の手入れ、ビオトープ等）を実施した。

- 事業名 学校環境緑化モデル事業（「ローソン緑の募金」寄付金の活用事業）
- ・高山村高山小学校
 - ・小川村立小川小学校

6 その他

(1) 国土緑化運動・育樹運動標語の募集

県内の小・中・高生より募集のあった作品59点の中から9点を長野県から推薦し、各県の推進作品を中央で審査された結果、平成29年度用次の2点が特選に選ばれた。

- ・国土緑化運動標語「未来へと 植えて育てる 緑の輪」 （小5 石川県）
- ・育樹運動標語 「育てよう 豊かな森と 未来の笑顔」 （中2 宮城県）

(2) 森の名手・名人の選定

（公社）国土緑化推進機構が選定する平成28年度「森の名手・名人」に長野県からは4名が選ばれ、県内の名手名人は53名となった。

氏 名	年齢	市町村	部 門	内 容
高橋鉄則	55	朝日村	森の恵み	シイタケ栽培
菅澤廣人	83	大町市	森づくり	造林手（苗木づくり）
川上紀源	69	大町市	森の恵み	シイタケ栽培
山岸久男	80	須坂市	森づくり	苗木生産

7 基本財産の運用

基本財産の運用については、当初予算では運用益として受取利息収入を8,716,600円と見込んだが、9月の利払い日時時点で円高に推移したことにより基準為替ルートを下回ったため、決算額は7,460,228円となった。

8 出捐金の内訳

平成28年度末		<u>589,856,019円</u>
	前年度よりの増加額	<u>138,207円</u>
	〈内訳〉	
	・長野県	150,000,000円(25.4%)
	・市町村	123,000,000円(20.8%)
	・民間	<u>316,856,019円(53.7%)</u>

II 公一2 緑の募金事業

「長野県ふるさとの森林づくり条例」の基本理念にある「県民の理解と主体的な参加」を念頭に、「緑の募金」運動を積極的に展開し、森林づくりとみどりづくりの大切さの普及啓発に努めました。

4月1日から5月31日までの「緑化推進特別強調月間」を中心に、5月4日には長野駅周辺と、トイゴ（新田町交差点付近）にて、市内の高校生24名（須坂園芸・創成、更級農業、清泉女学院、屋代南）と、長野県連合婦人会とともに街頭募金を実施しました。5月5日～6日には、エムウェーブを会場に開催されたa b n主催ゴールデンフェスタにてブース展示と募金活動を行いました。

緑を守り育てる緑化意識の高揚に努めるとともに広報等を通じて緑の募金活動を積極的に進めました。

県内各位からの緑の募金の寄附金は、各地区緑化推進団体や市町村をはじめ多くの関係者の御協力と県民各位の御理解をいただき、募金総額7,990万円余りで、目標金額8千万円にわずか届きませんでした。前年度金額を1.5%上回る結果となりました。（詳細は別紙1-1のとおり）

県内各地区の実情に応じた森林の整備、緑豊かな生活環境づくり、次代を担う子供たちの育成などをさらに進めました。（別紙1-2）

緑の募金による公募事業を通じて、健全な森林づくりや身近なみどりづくり、県産材の利活用、森林環境教育などに係る地域における自発的活動を支援しました。

みどりの少年団が行う森林・環境緑化等の学習実践活動を長野県みどりの少年団連盟を通じて促進しました。

平成28年6月5日に開催された第67回全国植樹祭では、緑の基金としておもてなしブースを設置し、緑の募金活動や長野県のみどりづくりの活動をPRしました。

1 緑の募金活動事業

(1) 緑化推進の啓発宣伝

ア 広告、CM等キャンペーン

緑化思想の普及啓発のため、新聞各社への緑化広告の掲載、ラジオ等によるPRを「緑

化推進特別強調月間」(4月1日～5月31日)中に「夢托す 小さな苗木に 大きな未来」を緑化運動標語にして行った。

- ・ 新聞広告掲載 4月1日他 6社掲載
- ・ 市町村広報誌への掲載
- ・ ラジオCM SBCラジオ 28回 (3月31～4月13日)
- ・ ラジオカー SBCラジオ 1回
- ・ 街頭募金 5月4日(みどりの日)
5月5～6日(企業(abn)との連携募金活動)
着胸キャンペーン 緑の羽根、ピンバッジ
- ・ 長野トヨペットふれあいグリーンキャンペーン 5月13日
- ・ 企業と連携した募金活動

イ 緑の相談

県民の緑の保全、緑化木等への理解と関心が深まるよう、身近な緑化樹木の衰弱や病虫害等樹木に関する相談に対して迅速に対応する相談窓口業務を実施した。

(2) 募金資材の購入

募金活動の効率的な展開を図るため、緑の羽根、募金箱等の募金資材の購入や募金PRのためのチラシ、家庭募金用封筒の作成等を行った。

(3) 募金活動の推進

4月1日から5月31日までの「緑化推進特別強調月間」を中心に、チラシ、新聞などを利用し広く緑の募金を呼びかけつつ、家庭募金、企業募金、職場募金、街頭募金などの募金活動を県・市町村等行政機関、地区緑化推進団体、みどりの少年団等と連携し、展開した。

2 公募事業の実施

特定非営利活動法人等緑の募金公募事業の要件を満たす団体が自主的に地域や社会ニーズに基づいた環境緑化、森林の整備、木材の利活用、野生動物との共生など公益的な活動を促進するため、「緑の募金」を活用した公募事業を運営協議会で内容を審査の上、22団体に3,949千円を交付した。

3 緑化の推進等

(1) 森林の整備

森林整備についての県民の意識の向上と理解を深めるため、植栽、下刈、除間伐などの森林整備に要する苗木・作業用具の購入、指導者の謝金、傷害保険等の経費に対して助成(交付金)した。

(2) 森林整備講演会・研修会等の開催

森林づくりの重要性、地球温暖化防止に係る森林の役割等の周知を図るため、各地区で行われる講演会・研修会の開催に要する経費、山火事防止の広報活動、松くい虫予防活動等に助成(交付金)した。

(3) 公園等公共施設の緑化

ア 学校緑化

学校内環境の緑化、学校林の整備等のため、苗木購入、作業用具購入、指導者謝金等の経費を助成(交付金)した。

イ 公園等公共施設の緑化

公園、公民館、福祉施設等の公共施設の環境緑化を図るための苗木購入、作業用具購入、指導者謝金等の経費を助成(交付金)した。

(4) 苗木の配布

生活環境の緑化や緑に関心を持ってもらうことを促進するため、緑化木頒布会の苗木等の購入の経費を助成(交付金)した。

(5) 植樹・育樹祭等行事

森林を守り育てる意識の高揚等を図ることを目的に地区緑化推進団体や市町村等で行う植樹・育樹祭等行事の開催の経費を助成(交付金)した。

(6) コンクール・講演・研修会

森林・林業のPR及び緑化思想の普及啓発を図るための各種コンクール及び緑化功労者の表彰式等の開催に係る経費を助成(交付金)した。

(7) 第67回全国植樹祭の開催準備

平成28年に長野県で開催した全国植樹祭の成功を期するため、第67回全国植樹祭開催準備事業として、森林整備や緑化の推進活動への支援や開催準備のための資材等を購入する第67回全国植樹祭長野県実行委員会に対し、6,403,227円の助成金を交付した。

4 みどりの少年団育成

次代を担う少年たちが、自然とのふれあいを通じて、森林・林業の重要性を理解し、緑を愛し育てる心を養い、人間性豊かに健康で明るく育つよう、県内の175団のみどりの少年団が実施した森林・環境緑化等の学習実践活動に対し、長野県みどりの少年団連盟を通じて助成するとともに地区事業として実施する実践活動に交付金を交付した。

また、長野県みどりの少年団交流集会を長野県、長野県みどりの少年団連盟と共催し、8月4日、塩尻市長野県林業総合センターで開催した。(参加者18団 引率含め 95名)
